

子ども・環境・社会をテーマにした活動

地球の未来を担う子どもたちの、豊かな心を育成するとともに、社員の社会貢献の心を養っていくために、数々の活動を展開しています。

取り組みの考え方

関連情報●社会貢献&メセナ活動

web <http://www.cosmo-oil.co.jp/phil/index.html>

全社的に社会貢献活動への取り組みを開始した1992年に基本方針を定め、1993年に初めての社会貢献プログラムとして、交通遺児の小学生を対象とした自然体験プログラム「コスモわくわく探検隊」を開催し、社員ボランティアが中心となって運営に携わりました。以来、社員参加型の次世代育成プログラムを会社が主体となって運営することによって、蓄積されたノウハウを活かし、専門分野で先駆的に活動するNPOとパートナーシップを築きながら、さまざまなプログラムを展開しています。

コスモわくわく探検隊

交通遺児の小学生を対象とした2泊3日の自然体験プログラムです。事前の研修で安全管理や子どもたちの心のケアについて研鑽を積んだ全国のコスモ石油グループ社員が中心となって実施します。2007年度は山梨県のゆずりはら青少年自然の里を舞台に児童34名が、魚や水生昆虫の観察、ヤマメのつかみ捕り、竹の食器づくりなどを体験しました。



「ハッピードール・プロジェクト」

長期入院中の子どもたちに心温まる時間を過ごしていただくためのワークショップ「ハッピードール・プロジェクト」をコスモ石油グループの事業所所在地を中心とした全国の6都市で実施。1つの病院で作られた作品は、その病院で展示された後、次の病院に運び、プログラム終了後は、6つの病院で制作された全作品を展示しました。



パパとキッズのアートプログラム

父親の育児参加を応援することを目的とし、父子がコミュニケーションとアートを楽しむワークショップ「パパとキッズのアートプログラム」を、全国のコスモ石油支店所在地で展開しています。父親が子どもの時のエピソードを語り、それをもとに子どもたちがイメージをふくらませ絵にして、最終的に“世界でたった1つの絵本”に仕上げました。



Column

「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」受賞

コスモ石油は、長年社会貢献活動を推進し、その功績を認められた団体に贈られる「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を2007年9月22日に受賞しました。「中央推薦」の団体としては、当社が全国で1団体のみの受賞となりました。

